



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月5日
上場取引所 東

上場会社名 昭和シェル石油株式会社
 コード番号 5002 URL <http://www.showa-shell.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役グループCEO (氏名) 香藤 繁常
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務統括部長 (氏名) 吉岡 勉 TEL 03-5531-5591
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日 配当支払開始予定日 平成26年9月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	1,540,033	8.8	16,885	△61.0	17,305	△60.6	14,000	△53.4
25年12月期第2四半期	1,415,903	8.0	43,255	—	43,976	—	30,031	—

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 15,853 百万円 (△50.6%) 25年12月期第2四半期 32,068 百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	37.17	—
25年12月期第2四半期	79.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	1,277,539	333,742	24.2
25年12月期	1,295,831	325,352	23.2

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 308,909 百万円 25年12月期 300,618 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	18.00	—	18.00	36.00
26年12月期	—	19.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,150,000	6.6	53,000	△29.7	53,000	△30.4	37,000	△38.6	98.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期2Q	376,850,400株	25年12月期	376,850,400株
26年12月期2Q	214,646株	25年12月期	213,372株
26年12月期2Q	376,636,323株	25年12月期2Q	376,622,933株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在における情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、当社グループ(当社及び連結子会社、以下同様)の業績は、経済情勢や市場動向並びに為替レートの変動等の要因により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績については、売上高1兆5,400億円（前年同期比8.8%増収）、営業利益168億円（前年同期比263億円の減益）、経常利益173億円（前年同期比266億円の減益）となりました。なお、たな卸資産評価の影響等を除いた場合の連結経常利益相当額については129億円となり、前年同期に比して99億円の減益となりました。

（原油価格、為替レートの状態）

	ドバイ原油 (ドル/バレル)	為替レート (円/ドル)	為替レート (円/ユーロ)
平成25年12月期 第2四半期連結累計期間	104.4	95.7	125.6
平成26年12月期 第2四半期連結累計期間	105.3	102.5	140.4
増 減	+0.9	+6.8	+14.8

※各数値は該当期間の平均値によります。

各セグメントの状況は、次の通りです。

① 石油事業

当第2四半期（4～6月）の当社グループの国内石油製品の販売数量は、4月からの消費税アップおよび原油価格高騰などに伴う製品価格の上昇が国内需要を抑制する環境ではありましたが、継続的に商品・サービスの差別化による顧客基盤の強化に取り組んだことにより、前年同期を上回りました。一方、国内燃料油のマージンにつきましては、当第2四半期（4～6月）には製品需給バランスの改善や原油調達コストの卸価格への適正な反映が促進されたことで、低位に推移した第1四半期に比べて大幅に改善いたしました。

当社では、エンジン本来の性能を引き出すプレミアムガソリン「Shell V-Power」を7月から販売開始するにあたり、当第2四半期（4～6月）において準備を行いました。このガソリンは世界のシェルグループの先進燃料技術を採用したものであり、従来から取り組んでおります異業種間共通ポイントサービス「Ponta」や非接触ICチップを内蔵したスピード給油決済システム「Shell EasyPay」といったサービスの差別化に加え、製品の差別化を燃料油の分野でも展開していくものです。

このような状況の下、石油事業の売上高は1兆4,700億円（前年同期比9.2%増収）、営業利益は51億円（前年同期比326億円の減益）となりました。また、たな卸資産評価の影響を除いた場合の営業利益相当額は8億円（前年同期比159億円の減益）となりました。

② エネルギーソリューション事業

太陽電池事業においては、国内需要が堅調であり、経済産業省が6月に発表した再生可能エネルギー設備認定状況では、平成25年4月から平成26年3月までの一年間における太陽光発電設備の認定容量は45ギガワット超と前年度の2倍以上となり、今後も継続して堅調なパネル需要が見込まれる状況です。当社の販売状況としては、引き続き販売代理店と連携した販売強化に努め、当第2四半期(4～6月)は前年同期比でパネル出荷数量が増加しました。一方、第1四半期には横ばいで推移した製品販売価格は当第2四半期(4～6月)には前年同期比で若干低下したものの、年初計画で事前に織り込んでいたレベルまでには至らず、生産コストを計画通り低減させることで収益を確保いたしました。

また、4月には将来に向けた事業戦略の一環として、当社100%子会社のソーラーフロンティア株式会社と米国ニューヨーク州立大学の間でCIS薄膜太陽電池の共同研究開発および現地生産の可能性に関する予備調査を実施することで合意いたしました。当社中期経営アクションプランで掲げた、CIS薄膜太陽電池でより競争力のあるコストレベルで高い変換効率を実現する海外生産拠点の確立に向けての布石になるものです。

電力事業については、グループ発電所は引き続き安定して稼働し、一部発電所の定期点検も計画通り行われたものの、大規模な定期検査を実施した前年度と比較すると生産量は伸長しました。電力販売については、複数のチャネルを通して、安定的に電力を供給いたしました。

これらの結果、エネルギーソリューション事業では、売上高は658億円(前年同期比0.3%増収)、営業利益は111億円(前年同期比63億円の増益)となりました。

③ その他

その他に関しては、売上高は40億円、営業利益5億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、1兆2,775億円となり、前連結会計年度末に比べ182億円減少しました。

負債は、9,437億円となり、前連結会計年度末に比べ266億円減少しました。なお、有利子負債(長期・短期借入金、コマーシャル・ペーパー及び社債の合計)残高は揮発油税延納に関する未払額が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ361億円増加し、2,571億円となりました。

また、純資産は、前連結会計年度末に比べ83億円増加して3,337億円となりました。これは主に当第2四半期連結累計期間における純利益等の増加要因が期末配当等の減少要因を上回ったことによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は24.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年2月14日に発表いたしました通期の業績予想は変更していません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって、予想と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,635	10,527
受取手形及び売掛金	391,257	356,638
商品及び製品	158,640	163,344
仕掛品	1,622	3,359
原材料及び貯蔵品	163,347	191,204
その他	44,223	55,781
貸倒引当金	△452	△261
流動資産合計	787,274	780,593
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	99,767	97,239
機械装置及び運搬具(純額)	133,758	126,639
土地	155,911	155,740
その他(純額)	21,655	22,595
有形固定資産合計	411,092	402,215
無形固定資産		
無形固定資産	11,160	11,385
投資その他の資産		
その他	86,944	83,941
貸倒引当金	△640	△596
投資その他の資産合計	86,303	83,345
固定資産合計	508,556	496,945
資産合計	1,295,831	1,277,539
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	384,965	386,957
短期借入金	89,298	136,262
未払金	173,149	132,414
未払法人税等	18,153	3,314
引当金	2,206	2,217
コマーシャル・ペーパー	—	35,000
その他	67,806	62,015
流動負債合計	735,580	758,181
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	111,696	65,900
退職給付引当金	73,005	73,052
特別修繕引当金	15,033	11,759
その他	25,162	24,902
固定負債合計	234,897	185,615
負債合計	970,478	943,796

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,197	34,197
資本剰余金	22,123	22,123
利益剰余金	243,374	250,601
自己株式	△180	△181
株主資本合計	299,515	306,741
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,613	1,740
繰延ヘッジ損益	△510	427
その他の包括利益累計額合計	1,102	2,167
少数株主持分	24,733	24,833
純資産合計	325,352	333,742
負債純資産合計	1,295,831	1,277,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,415,903	1,540,033
売上原価	1,307,171	1,460,167
売上総利益	108,731	79,865
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	19,941	19,002
人件費	17,541	17,136
その他	27,993	26,841
販売費及び一般管理費合計	65,476	62,980
営業利益	43,255	16,885
営業外収益		
受取利息	75	70
受取配当金	409	366
為替差益	224	—
持分法による投資利益	848	467
匿名組合投資利益	659	834
貸倒引当金戻入額	250	219
業務受託収入	10	687
その他	938	789
営業外収益合計	3,416	3,434
営業外費用		
支払利息	2,074	1,803
為替差損	—	26
業務受託費用	6	667
その他	615	516
営業外費用合計	2,695	3,014
経常利益	43,976	17,305
特別利益		
固定資産売却益	437	498
補助金収入	4,341	3,117
その他	435	179
特別利益合計	5,215	3,795
特別損失		
固定資産処分損	856	974
投資有価証券評価損	912	288
減損損失	494	713
訴訟和解金	—	828
その他	224	222
特別損失合計	2,488	3,026
税金等調整前四半期純利益	46,703	18,075
法人税、住民税及び事業税	14,669	2,840
法人税等調整額	1,074	453
法人税等合計	15,743	3,294
少数株主損益調整前四半期純利益	30,959	14,780
少数株主利益	928	779
四半期純利益	30,031	14,000

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	30,959	14,780
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	883	127
繰延ヘッジ損益	41	937
持分法適用会社に対する持分相当額	184	6
その他の包括利益合計	1,109	1,072
四半期包括利益	32,068	15,853
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,094	15,065
少数株主に係る四半期包括利益	974	787

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	46,703	18,075
減価償却費	20,022	20,598
減損損失	494	713
固定資産除売却損益(△は益)	418	475
受取利息及び受取配当金	△485	△437
支払利息	2,074	1,803
売上債権の増減額(△は増加)	75,201	35,322
たな卸資産の増減額(△は増加)	△12,408	△34,333
仕入債務の増減額(△は減少)	△65,528	△35,359
その他	△11,890	△20,054
小計	54,602	△13,195
利息及び配当金の受取額	487	439
利息の支払額	△2,115	△1,952
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△7,340	△18,046
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,634	△32,755
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,168	△12,464
無形固定資産の取得による支出	△1,321	△1,481
有形固定資産の売却による収入	851	959
投資有価証券の取得による支出	△8	△3
投資有価証券の売却による収入	99	—
短期貸付金の増減額(△は増加)	1,905	649
長期貸付けによる支出	△979	△2
長期貸付金の回収による収入	1	1
その他	△546	△926
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,164	△13,266
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,258	17,275
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	△18,000	35,000
長期借入れによる収入	1,300	—
長期借入金の返済による支出	△1,033	△16,107
社債の償還による支出	△15,000	—
自己株式の取得による支出	△0	△1
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△3,390	△6,780
少数株主への配当金の支払額	△592	△683
その他	△755	△803
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38,730	27,900
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,260	△18,121
現金及び現金同等物の期首残高	16,979	27,428
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	1
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	13
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,718	9,322

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	石油事業	エネルギー ソリューション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,346,005	65,710	1,411,716	4,187	1,415,903	—	1,415,903
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,838	8,032	12,870	1,460	14,331	△14,331	—
計	1,350,843	73,743	1,424,586	5,648	1,430,235	△14,331	1,415,903
セグメント利益	37,821	4,812	42,634	628	43,263	△7	43,255

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産、建設工事、自動車用品の販売及びリース事業等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額△7百万円は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	石油事業	エネルギー ソリューション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,470,068	65,882	1,535,950	4,082	1,540,033	—	1,540,033
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,311	5,856	10,168	1,142	11,310	△11,310	—
計	1,474,380	71,738	1,546,119	5,225	1,551,344	△11,310	1,540,033
セグメント利益	5,169	11,114	16,283	578	16,862	22	16,885

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産、建設工事、自動車用品の販売及びリース事業等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額22百万円は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。